

## [010] 比較社会文化研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4495902>

---

出版情報：比較社会文化研究. 10, 2001-10-01. 九州大学大学院比較社会文化研究科  
バージョン：  
権利関係：

## 編集後記

ツクツクボウシの余韻が遠のいたと思うと、夕暮れも待たずに虫の音が競いあう六本松キャンパスは、今年もはや充実の秋を迎えています。多くの方々の手をお借りし、あるいは気を揉ませて、収穫の時期を逃さずに無事『比較社会文化研究』第10号をお届けできたことを、編集初心者としては何より嬉しく思い、感謝しております。

さて、ここに寄せられた六編は、21世紀を生き始めた執筆者各位の新鮮な収穫物です。今その収穫に立ち会われることになる皆さんが、各自の収穫を励まされたり、さらに美味しく料理するための共同キッチンに立たれたりすることで、生産的な批評の場としての「われわれ」が鍛えられていくのではないのでしょうか。その契機を継続的に提供することが、現在、本誌の果たし得る最も大きな役割であり、責任であると考えます。

今回編集に携わったことで初めて本誌を身近に感じ、その存在意義に思いをめぐらせた立場からみると、創刊当時の「必要」に迫られた熱意が自然には共感されないほど、本研究科の規模が大きくなり、人と人の関係性が希薄になっていると言わざるを得ません。それ自体は良くも悪くもありませんが、特に今後の本誌編集のあり方について考えるとき、研究科の外側に向けては勿論のこと、内側に向けての更なる自己アピールが必要であると思われれます。本誌の継続・発展に新鮮な熱意をもち込む人材が、寄稿だけでなく編集の方面にも名乗りを上げ、加えて編集システムの確立・改良に多くの意見が集まる土壌を作ることが、「われわれ」の課題として共有されることを願ってやみません。

(畑中 佳恵)

『比較社会文化研究』第10号

2001年10月1日発行

編集委員／中村 智、畑中 佳恵、市丸 祥子

発行/九州大学大学院比較社会文化学府 代表者 高田 和夫  
福岡市中央区六本松4-2-1 (〒810-0044) ☎092-726-4524  
Graduate School of Social and Cultural Studies, Kyushu University  
4-2-1 Ropponmatsu, Chuo-ku, Fukuoka 810-0044, Japan